

平成 27 年第 1 回定例会

富良野市議会会議録（第 3 号）

平成 27 年 3 月 4 日（水曜日）

平成 27 年第 1 回定例会

富 良 野 市 議 会 会 議 録

平成 27 年 3 月 4 日 (水曜日) 午前 10 時 01 分開議

議事日程 (第 3 号)

- 日程第 1 議案第 10 号 平成 26 年度富良野市一般会計補正予算 (第 7 号)
議案第 37 号 富良野市住宅改修促進助成条例の一部改正について
- 日程第 2 議案第 11 号 平成 26 年度富良野市国民健康保険特別会計補正予算 (第 2 号)
- 日程第 3 議案第 12 号 平成 26 年度富良野市介護保険特別会計補正予算 (第 2 号)
- 日程第 4 議案第 13 号 平成 26 年度富良野市公共下水道事業特別会計補正予算 (第 5 号)
- 日程第 5 議案第 14 号 平成 26 年度富良野市簡易水道事業特別会計補正予算 (第 2 号)
- 日程第 6 議案第 15 号 平成 26 年度富良野市水道事業会計特別会計補正予算 (第 2 号)
- 日程第 7 議案第 16 号 平成 26 年度富良野市ワイン事業特別会計補正予算 (第 1 号)
- 日程第 8 議案第 40 号 建物の取得について

出席議員 (18 名)

議 長	18 番	北 猛 俊 君	副議長	6 番	横 山 久仁雄 君
	1 番	洪 谷 正 文 君		2 番	小 林 裕 幸 君
	3 番	本 間 敏 行 君		4 番	黒 岩 岳 雄 君
	5 番	広 瀬 寛 人 君		7 番	今 利 一 君
	8 番	岡 本 俊 君		9 番	大 栗 民 江 君
	10 番	萩 原 弘 之 君		11 番	後 藤 英知夫 君
	12 番	石 上 孝 雄 君		13 番	関 野 常 勝 君
	14 番	天 日 公 子 君		15 番	岡 野 孝 則 君
	16 番	菊 地 敏 紀 君		17 番	日 里 雅 至 君

欠席議員 (0 名)

説 明 員

市 長	能 登 芳 昭 君	副 市 長	石 井 隆 君
総 務 部 長	若 杉 勝 博 君	保 健 福 祉 部 長	鎌 田 忠 男 君
経 済 部 長	原 正 明 君	建 設 水 道 部 長	外 崎 番 三 君
商 工 観 光 室 長	山 内 孝 夫 君	看 護 専 門 学 校 長	丸 昇 君

総務課長 高田賢司君

企画振興課長 西野成紀君

教育委員会教育長 近内栄一君

監査委員 宇佐見正光君

選挙管理委員会委員長 桐澤博君

事務局出席職員

事務局長 岩鼻勉君

書記 大津諭君

書記 澤田圭一君

財政課長 柿本敦史君

教育委員会委員長 吉田幸男君

教育委員会教育部長 遠藤和章君

選挙管理委員会事務局長 一條敏彦君

書記 川崎隆一君

書記 山本巻江君

午前10時01分 開議
(出席議員数18名)

開 議 宣 告

議長(北猛俊君) これより、本日の会議を開きます。

会議録署名議員の指名

議長(北猛俊君) 本日の会議録署名議員には、
小林裕幸君
菊地敏紀君
を御指名申し上げます。

諸 般 の 報 告

議長(北猛俊君) この際、諸般の報告をいたします。
3月3日、会議終了後、予算特別委員会が開かれ、委員長に菊地敏紀君、副委員長に広瀬寛人君が互選された旨、報告がございました。
以上で、諸般の報告を終わります。

日程第1

議案第10号 平成26年度富良野市一般会計補正
予算(第7号)
議案第37号 富良野市住宅改修促進助成条例の
一部改正について

議長(北猛俊君) 日程第1、議案第10号、平成26年度富良野市一般会計補正予算及びこれに関連する議案第37号、富良野市住宅改修促進助成条例の一部改正について、以上2件を一括して議題といたします。
これより、順次、本件2件の質疑を行います。
初めに、議案第37号、富良野市住宅改修促進助成条例の一部改正について、質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(北猛俊君) ないようですので、以上で議案第37号の質疑を終わります。

次に、議案第10号、平成26年度富良野市一般会計補正予算の質疑を行います。

質疑は、予算第1条の歳出より行います。
事項別明細書28ページ、29ページをお開きください。
2款総務費より4款衛生費まで、28ページ、29ページより38ページ、39ページまでを行います。
質疑ございませんか。

8番岡本俊君。

8番(岡本俊君) 29ページの普通財産管理経費で、130番でございます。

旧北の峯ハイツの土地購入というふうに理解しておりますが、この土地利用に関して、市民の意見聴取が進んでおりますが、今後の購入後の利活用の考え方について、そして、いつごろを目途にそういう計画がで上がるのか、その辺についてお伺いしたいと思います。

議長(北猛俊君) 御答弁願います。

総務部長若杉勝博君。

総務部長(若杉勝博君) 岡本議員の御質問にお答えいたします。

29ページ、130番、普通財産管理経費で3,485万円、これは、御質問のとおり、旧北の峯ハイツの底地の購入費用です。

いまお尋ねの今後の利活用の考え方は、昨年、第2回定例会及び第4回定例会でも御質問がりましたが、私どもでは、多目的で使える施設、建物、そして、今回、底地の予算を上げております。そこで、2月末をもって市民からの意見を募集して、いま現在、締め切ったところですので、結果として、6点ほど意見を承っておりますので、そこに出てきた意見も踏まえながら、市として考えている部分も総合的に判断をしながら、これまでの答弁の中で段階的な整備ということも申し上げておりますので、できる限り早い時期に利用、活用できるような状況づくりに努めてまいりたいと考えております。

以上であります。

議長(北猛俊君) よろしいですか。

(「了解」と呼ぶ者あり)

議長(北猛俊君) そのほか質疑ございませんか。
7番今利一君。

7番(今利一君) 同じところですけども、3,485万円の単価設定はどういうふうにしてはじかれたのか、あわせて御答弁願いたいと思います。

議長(北猛俊君) 御答弁願います。

総務部長若杉勝博君。

総務部長(若杉勝博君) 今議員の御質問にお答えいたします。

ただいまの旧北の峯ハイツの購入の単価設定という御質問ですが、私どもは、第三者としての不動産鑑定依頼を行いまして、それに基づいてはじかれた平米当たり1,610円という単価をもとにしての今回の予算計上となっております。

以上であります。

議長(北猛俊君) よろしいですか。

(「了解」と呼ぶ者あり)

議長(北猛俊君) そのほか質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(北猛俊君) ないようですので、次に移ります。
5款労働費より7款商工費まで、38ページ、39ページより42ページ、43ページまでを行います。

質疑ございませんか。

10番萩原弘之君。

10番（萩原弘之君） 42ページ、43ページ、7款商工費1項商工費3目観光費の109番、観光インフォメーションセンター業務委託料からスノーファンタジー推進協議会補助金までについて質問をさせていただきます。

観光インフォメーションセンター業務委託ということで、1,200万円が計上されております。いただきました資料等を見ていますと、このインフォメーション業務を市の業務として整理しという内容で書かれております。そのほかにいただいた資料等を見ていますと、情報発信の強化とか情報提供、相談窓口の強化、外国人対応の強化、こういう部分について、いわゆる民間と市の観光という中で整理したというような内容になっているかと思えます。

現状の中で、この整理をしたということの背景、あわせて、整理をした中で重点的にどの部分の課題であったのか、お聞かせいただきたいというふうに思います。

議長（北猛俊君） 御答弁願います。

商工観光室長山内孝夫君。

商工観光室長（山内孝夫君） 萩原議員の質問にお答えいたします。

43ページ、109番、観光インフォメーションセンター業務委託にかかわる背景、それから、課題についてでございます。

初めに、背景について御説明申し上げます。

本件につきましては、現在、富良野、美瑛で進めておりますブランド観光圏の認定に向けて取り組みを進めているというのが大前提でございます。この中では、大きく六つの要件がございます。一つ目は、日本を代表する価値があること、二つ目は、景観、食、滞在プログラムなどの魅力があること、三つ目は、ワンストップ窓口、移動手段、外国人対応などの受け入れ環境が整備されていること、四つ目は、統合された情報発信、地域を担うマネジメント体制が確立されていること、五つ目は、行政、民間、地域が連携して取り組んでいること、六つ目は、来訪者から高い評価を得ていること、以上、六つが要件として掲げられております。

この要件のクリアに向けて取り組みを進めているところですが、この背景として現状を分析いたしますと、社会情勢がいろいろと大きく変わってきてございます。そこで、観光調査ということで、平成12年度、18年度、25年度とそれぞれ調査しております。

まず、一つ目に、来られたお客さんに対する調査でございます。どのような情報をもとに富良野にお越しになられましたかというような質問をしております。平成12年度においては75%と、ほとんどの方がテレビ、雑誌、広告とお答えなっておりました。それが、平成25年

度の段階では50%と、約半分に落ちております。かわって、それ以外の情報源といたしましてインターネット、いわゆるIT化がすごく進んでいる状況がございます。平成12年度には4%の方しかおられなかったのですが、平成25年度においては25%の方、約4分の1がインターネットによって富良野に来ることを動機づけられたという状況でございます。

二つ目は、旅行形態の大きな変遷もでございます。平成12年度には団体旅行の方が11%という回答でございましたが、平成25年度においては3%ということで、平成12年度を1.0として考えた場合には、平成25年度には0.3ですから、いま現在は個人旅行に大きくシフトしてきている状況でございます。

それから、三つ目として、情報化の時代の中で、実際に窓口の案内業務はどのような状況になっているかということでございますが、平成15年度には10万6,000人という状況でございましたけれども、平成25年度には5万9,000人と、実は約半分弱ぐらまで減っております。先ほど申しましたように、情報が多元化していることがこれでわかるかと思えます。

もう一つ、あわせまして、窓口でなければ、問い合わせ関係はどのような状況になってきているのかと申しますと、やはりメール対応が非常に多くなっております。平成15年度の段階では1日当たり数件しかなかったものが、現在、平成24年度には、英語などの多言語化を進めている関係もございまして、1日当たり20件ぐらいの問い合わせがございます。その中でも、外国の方から平均して1日当たり大体10件ぐらいの問い合わせが来るということで、いま申し上げたように、10年前と比べて社会情勢が大きく変化しております。

このような状況と課題がございますので、これを解消するために、今後に向けた重点取り組みということで大きく五つ掲げさせていただきました。一つ目には、海外戦略を含めて、国内外と争い、来ていただける商品づくりの提供です。二つ目に、いろいろな方が見えておられますので、一つの窓口、ワンストップ窓口できちんと対応できるような体制、外国人の対応ができるような体制を強化しましょうということです。三つ目は、情報発信です。いま現在、ほとんどが英語ですが、予約を含めて若干不足しているところもございまして、このような課題解決に向けて強化していきます。あわせて、マネジメント体制についても強化してまいりたいと思っております。四つ目は誘致、誘客、五つ目は市場分析と実施結果の評価と改善です。観光業につきましては、旅行業界でございますので、常に経済の情勢に伴っているいろいろ変動がございます。そのようなことを常に的確に掌握、判断しながら取り組みなり対応を考えていかなければならないと考えてございます。これらを総合して判断いたしま

して、それぞれ市の役割、民間の役割、また行政と民間の協働と大きく三つに分けてそのような取り組みを進めようというふうに考えております。

そこで、行政の役割としては、やはり情報関連は行政の大きな役割であろうと考えております。それから、公的なインフラ、また国際的な対応についても外国語対応とかいろいろなことがございますし、さらに関係機関とか団体の調整、連携も行政の役割と考えております。民間につきましても、商品関係、誘客関係、それから、サービスの提供というような現地、受け地での対応が主たる仕事になると考えています。三つ目は行政と民間の協働ということで、マネジメント体制、市場分析、戦略、評価、改善というのは連携して進めなければならないと考えております。

先ほど御質問がございました背景、課題、それから、今後に向けた解決方法ということで現在取り組みを進めておりまして、その一環として、今回、補正予算に計上させていただきました。

以上でございます。

議長（北猛俊君） よろしいですか。

10番萩原弘之君。

10番（萩原弘之君） いま御説明をいただいた部分が、いただいた資料の内容の全てかなというふうに思いますが、今回、インフォメーションセンターについて、いわゆる業務委託として1,200万円を計上したことに対して、私は、1点質問させていただきます。

先ほど来、室長は、いわゆる情報の発信というお話をなされておりました。いま市のホームページを再構築している現況もあるかと思いますが、観光協会、あわせて、その他観光にかかわる協議会等では、先ほど言われていましたように日本語版しかないホームページも何点かございます。そういう中で、現状ではそれをちゃんと一元化するという構図がどうも見えていないのです。業務として情報発信をするという部分をこれから行政が役割分担されることに関して、この最も大事なウェブ、いわゆるホームページという部分の統括の仕方をどういうふうに考えておられるのか、質問いたします。

議長（北猛俊君） 御答弁願います。

商工観光室長山内孝夫君。

商工観光室長（山内孝夫君） 萩原議員の再質問にお答えいたします。

情報発信の統括、一元化という質問でございます。

これにつきましては、来年度、平成27年度におきまして、まず、現在の状況が富良野・美瑛の広域のホームページ、それから、富良野市のホームページということで二つに分かれております。そこでまず、広域のホームページの見直しをかけまして、広域全体で一元化を図ります。そして、その中にそれぞれの市町村のホームページ

を入れまして、外国人の方も含め、お客さんがウェブで検索する場合に、富良野・美瑛観光というような簡単な検索ワードで入れるような形にしたいというのが1点目でございます。

それに伴い、それぞれの情報の更新などのいろいろな業務が出てまいります。それには、それぞれの自治体が責任を担うというシステムです。例えば、お客さんが富良野に行きたい場合には、富良野・美瑛から入りまして、さらに富良野というところに入っていくというシステムづくりを考えております。ウェブというシステムは、いかにお客さんにわかりやすく、なおかつ、インセンティブを与えられるかというのが一番重要だということに考えてございますので、そのような取り組みを進めてまいりたいと考えております。

議長（北猛俊君） よろしいですか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） そのほか質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） ないようですので、次に移ります。

8款土木費より11款給与費まで、42ページ、43ページより50ページ、51ページまでを行います。

質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） ないようですので、以上で歳出を終わります。

次に、歳入及び予算第2条第2表繰越明許費、第3条第3表債務負担行為補正、第4条第4表地方債補正を行います。

6ページ、7ページより8ページ、9ページまで及び14ページ、15ページより26ページ、27ページまでを行います。

質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） ないようですので、以上で議案第10号の質疑を終わり、本件2件の質疑を終了いたします。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件2件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） 御異議なしと認めます。

よって、本件2件は、原案のとおり可決されました。

日程第2

議案第11号 平成26年度富良野市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

議長（北猛俊君） 日程第2、議案第11号、平成26年度富良野市国民健康保険特別会計補正予算を議題といた

します。

これより、本件の質疑を行います。
質疑は、本件全体について行います。
質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(北猛俊君) ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(北猛俊君) 御異議なしと認めます。
よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第3

議案第12号 平成26年度富良野市介護保険特別
会計補正予算(第2号)

議長(北猛俊君) 日程第3、議案第12号、平成26年
度富良野市介護保険特別会計補正予算を議題といたしま
す。

これより、本件の質疑を行います。
質疑は、本件全体について行います。
質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(北猛俊君) ないようですので、以上で本件の
質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(北猛俊君) 御異議なしと認めます。
よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第4

議案第13号 平成26年度富良野市公共下水道事
業特別会計補正予算(第5号)

議長(北猛俊君) 日程第4、議案第13号、平成26年
度富良野市公共下水道事業特別会計補正予算を議題とい
たします。

これより、本件の質疑を行います。
質疑は、本件全体について行います。
質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(北猛俊君) ないようですので、以上で本件の
質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(北猛俊君) 御異議なしと認めます。
よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第5

議案第14号 平成26年度富良野市簡易水道事業
特別会計補正予算(第2号)

議長(北猛俊君) 日程第5、議案第14号、平成26年
度富良野市簡易水道事業特別会計補正予算を議題といた
します。

これより、本件の質疑を行います。
質疑は、本件全体について行います。
質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(北猛俊君) ないようですので、以上で本件の
質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(北猛俊君) 御異議なしと認めます。
よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第6

議案第15号 平成26年度富良野市水道事業会計
補正予算(第2号)

議長(北猛俊君) 日程第6、議案第15号、平成26年
度富良野市水道事業会計補正予算を議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。
質疑は、本件全体について行います。
質疑ございませんか。

1番 渋谷正文君。

1番(渋谷正文君) 4ページ、5ページ、水道事業
費用の営業費用、その中の資産減耗費の固定資産除却費
についてお伺いいたします。

こちらについては、まだ減価償却が終わっていない固
定資産を廃棄する場合に、減価償却分の額を除却するも
のであるというふうに認識しております。

過年度を見ますと、平成22年度から51万円、113万2,000
円、361万3,000円、平成25年度が197万4,000円となっ
ております。今回、1,504万8,000円を追加し、1,650万4,000
円となるとございまして、2点伺いたいと思
います。

まず、1点目は、これはどの資産の種類に該当するも

のでしょうか。物理的な消耗や事故による使用不能等が考えられますけれども、除去に至った原因、理由についてお伺いいたします。

2点目は、偶発的に起きたことなのか、今後においてもこうしたことが起こり得るのか、こちらについてお伺いいたします。

議長（北猛俊君） 御答弁願います。

建設水道部長外崎番三君。

建設水道部長（外崎番三君） 渋谷議員の御質問にお答えいたします。

渋谷議員が御指摘のとおり、長期前受金戻入の関係については、減価償却費の資産減耗費ということで、その補助金または補償費に該当する部分について、長期前受金を戻入するという公営企業の会計上のルールになってございます。

このたび、平成26年度は骨格予算ということで当初予算が組まれまして、6月の補正段階で道路改良の事業を実施しました。これに伴い、水道についてもあわせて水道管の移設工事が生じましたが、水道管の移設については補償費が生じております。通常であれば、随時、減価償却をしていきますけれども、なくなってしまった資産については資産減耗ということで費用を宛てがいますが、その中に補償費を受けているものがありまして、これらの本数が道路改良でかなり出ました。そこで、この歳入の部分について長期前受金戻入で受けるということで、このたび、補正を出したものでございます。

種類は、いわゆる水道の配水管、本管となっております。原因は、いま申し上げたとおりです。

それから、今後についてですが、当初の道路改良関係で見込まれる部分に関しては当初予算で組みますから、これについては、途中補正ということでの長期前受金は上がってきません。しかし、補正で道路改良が生じて、それに伴う水道管の移設が生じた場合は、それに連動して戻入金も発生してくるということでございます。

以上でございます。

議長（北猛俊君） よろしいですか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） そのほか質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第7

議案第16号 平成26年度富良野市ワイン事業会計補正予算（第1号）

議長（北猛俊君） 日程第7、議案第16号、平成26年度富良野市ワイン事業会計補正予算を議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑は、本件全体について行います。

質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第8 議案第40号 建物の取得について

議長（北猛俊君） 日程第8、議案第40号、建物の取得についてを議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

散 会 宣 告

議長（北猛俊君） 以上で、本日の日程は終了いたしました。

明5日、6日は議案調査のため、7日、8日は休日のため、休会であります。

9日の議事日程は、当日御配付いたします。

本日は、これをもって散会いたします。

午前10時30分 閉会

上記会議の記録に相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成27年3月4日

議 長 北 猛 俊

署名議員 小 林 裕 幸

署名議員 菊 地 敏 紀